

▼講演中の生徒の様子



平成29年度文化講演会

H29.10.11(水)

作家で僧侶の家田莊子さんをお招きして、講演をしていただきました。

タイトル

「自分らしく生きるために

～家田からのエール～」

ご自分の体験をもとに、生徒が前を向いて歩いていけるさまざまなお話をいただきました。

▼家田さんを囲んで

浅野校長(左)、後期生徒会役員の皆さん

◆生徒の感想◆

人それぞれ生き方、考え方は異なります。他の誰かに理想を押しつけられてしまえば、その人の自由が制限されてしまいます。自分が自分らしく生きる、当たり前のことかもしれないけれどすごく大切なことだと感じました。自分には、まだ目標がありませんが、何になっても良いように準備をしておこうと思っています。今からの小さな積み重ねというのが将来の自分を作り出すということを肝に銘じながら、今後、生活していきたいと思うことができました。(1年)



家田さんの講演を聴いて、僕も周りからの目を気にし過ぎるのはやめようと思いました。また、辛いことがあっても、これ以上はないものだと思って生きていこうと感じました。あの空海大師も、たくさん悩んだことがあって、何度も挫折しそうになりながらも、それでもめげずに真言宗を大成したことを知ると、身近に感じられるように思えます。背暗向明はよい言葉だと思います。しかし、今は学生の身なので、暗い方から逃げず、克服して、人生を歩いていきます。(2年)

私が印象に残った言葉は、「つらい時こそ人のために動く」です。自分がつらい時やネガティブな時は何か行動して余計に傷つきたくないと自分を守るような気持ちを持っていましたが、人のために動いたとき、「ありがとう」やうれしそうな表情を見ると、自分もうれしく思うということをつらい時こそやることで自分が存在する意味を持ち、自分を受け入れることができるという事を聞き、私は今までそういう風に思っただけではなく、話を聞いてから、早く人のために何か行動したいと思いました。しかし、無理して人のために動くのではなく、自分のできることを少しでもやるという事が大切だとわかりました。これからの人生で自分はこういう考えをもっていきたいと思い、明日から少しでも実現したいと思いました。(3年)